

## 鷺浦地区の見どころ

二百数戸の家が天然港周辺に群れる鷺浦の住民にとって、生活は常に海を軸として回っている。この地域に最初に住むようになった者たちは、丘陵に取り囲まれることで外敵から守られ、自然の防波堤の働きをする柏島により海風の脅威から逃れられる鷺浦の港に魅力を感じた。

江戸時代（1603 年 - 1867 年）の間、鷺浦は日本海を航路とする商業船が寄港する大きな港となった。地元の卸売業者と配送業者は塩、米、ニシン、その他物品の取引で栄えた。近くに鉱山が見つかり地物産業が鉱業へと広がった明治時代（1868 年 - 1912 年）がこの町の最盛期であった。

海洋貿易が衰退すると、商業港としての町の重要度はなくなったが、鷺浦の住民たちと海のつながりは衰えることはなかった。現在の町の主要産業は漁業である。毎年 7 月 31 日に開催される権現祭では、住民たちは船に乗り列を組んで柏島へと航海し、安全と豊漁を祈って島の神々に祈りを捧げる。

小島、小さな洞穴、洞窟がある薄い崖といった、この地域の特筆すべき海岸線は、大山隠岐国立公園の一部に指定されている。